

特集

本気の心房アブレーション

企画・構成／永嶋孝一

識る

- 12誘導心電図からの診断：
頭の中ではもうマッピングは始まっている
- 2カテ室での診断：頭の中では頻拍回路と
治療戦略はもう見えている
- 3マッピングの機器と方法：アクチベーションだけ
じゃない，リアルな心房を描ききれ
- 4マッピングカテーテル：
局所の電位にとことんこだわ

診る

- 5上室頻拍1 心房頻拍(AT)：
とりあえず早いところを焼く時代は終わった

- 6上室頻拍2 正方向性回帰性頻拍(ORT)：
ケント束だけではないORTの深い沼
- 7上室頻拍3 逆方向性回帰性頻拍(ART)：
ケント束・マハイム束へのいざない
- 8上室頻拍4 房室結節リエントリー性頻拍
(AVNRT)：なかなか姿を見せない
slow pathwayの可視化への挑戦
- 9発作性心房細動：透視を使わないのが，
そして再発しないのが当たり前の時代へ
- 10持続性心房細動：見えてきたぞ，
持続性心房細動というブラックボックス
- 11通常型心房粗動：通常型心房粗動
アブレーションrevisit：基礎にして奥義

- 12非通常型心房粗動：
どんな複雑な回路も見えてきたぞ！
- 13心房期外収縮：本当は教えたくない
non-PV triggers ablationのコツ

治す

- 14アブレーションカテーテル：人類のdurabilityへの
挑戦は今どこまで来ているのか
- 15バルーンカテーテルによる肺静脈隔離：
結局どのバルーンが一番いいの？
- 16Pulsed field ablation：
人類が未来に期待するものは
- 17気をつけなければいけない合併症

バックナンバー

Back Number

2024年4月号 肺高血圧治療～今どこに進んでいるのか～

企画・構成／大郷 剛

識る

1. 肺高血圧症：疫学と歴史 田邊信宏
2. 診断基準の変更でPH診療はどう変わるのか？
～2022年ESC/ERSガイドライン改訂におけるPH新基準を踏まえて～ 田村雄一
3. PAHにおける遺伝学的検査はPH診療を変えるか？ 桃井瑞生，平出貴裕，片岡雅晴
4. 左心疾患とPHを合併する場合の診療はどうするか？
～心疾患合併PAHおよび2群PHの診療～ 波多野 将
5. PH診療において右心機能評価をどう生かすか？ 島 秀起，辻野一三

診る

6. 膠原病性PAHをできるだけ見逃さず，早期に診断するためには 安岡秀剛
7. 日常診療に潜むCTEPHを見逃さないコツ 足立史郎

8. 運動負荷右心カテーテルをPH診療にどう生かすか？ 伊波 巧
9. [Expertise]NO吸入薬をPH診療にどう生かすか？ 上田 仁

治す

10. 現状での最適なPAH治療とは？
～2022年ESC/ERSガイドライン改訂を踏まえて～ 杉村宏一郎
11. 呼吸器疾患とPHを合併する場合の治療はどうするか？
～PGI2吸入薬のエビデンスを踏まえて～ 杉浦寿彦
12. CTEPHにおける肺動脈バルーン形成術の適応と限界は？ 下川原裕人
13. 小児PH治療の特徴：疫学，診断の観点も含めて 土井庄三郎
14. [Expertise]PAHに対する新規治療アプローチーソタテルセプトー 眞田喬行
15. [Expertise]肺動脈除神経治療(PADN)とは 浅野遼太郎，大郷 剛

〈連載〉心臓の解剖[知っておきたい知識ー疾患の病態生理から治療へつなげる解剖学ー]

第29回 心エコー図検査に活かす心臓構造 井川 修

2024年5月号 循環器疾患に対する遺伝子診断と治療 Up to date

企画・構成／尾上健児

識る

1. 冠動脈疾患のポリジェニックスコア 黒澤 亮，伊藤 薫
2. 不整脈と遺伝子の関連 牧山 武，相澤卓範
3. 特発性心筋症と遺伝子の関連 森田啓行
4. 二次性心筋症を正しくマネジメントするための遺伝学的知識 吉田昌平，藤野 陽
5. 胸部大動脈瘤・解離症のゲノム医療の現状と課題 武田憲文
6. 肺動脈性肺高血圧症の遺伝子変異と新規治療の展望 浅野遼太郎，中岡良和

診る

7. 循環器診療における遺伝学的検査の使い方 久保 亨

8. 冠動脈疾患と家族性高コレステロール血症 多田隼人
9. 心筋症の遺伝子別診療の考え方 井上峻輔
10. [Expertise]シングルセル解析と循環器疾患 野村征太郎
11. [Expertise]アメリカにおける循環器遺伝診療事情 秋田敬太郎，島田悠一

治す

12. 精度管理された臨床遺伝学的検査と
全国規模ゲノムコンソーシアム研究の連携による循環器ゲノム医療の推進 宮下洋平，金岡幸嗣朗，朝野仁裕
13. [Expertise]心筋症の遺伝子治療：
ベンチからベッドサイドへの最新の研究展開 脇本博子

2024年6月号 負荷心エコーで疾患の何がみえる？

企画・構成／小保方 優

識る

1. 運動時の生理学と病態生理を理解する 杉本匡史
2. 負荷エコーでまず識っておきたいこと 岩野弘幸
3. 6分間歩行心エコーの実際を理解する 山口夏美，楠瀬賢也
4. ドブタミン負荷心エコーの実際を理解する 天野雅史
5. エルゴメータ運動負荷心エコーの実際を理解する 河田 侑
6. [Expertise]労作時息切れ患者を対象とした，
臥位エルゴメータ運動負荷心エコーの導入 鏡 和樹，安田理紗子，足立 健

診る

7. 肺高血圧症の負荷心エコー：どこを診る？ 綱本浩志，大西哲存
8. HFpEFの負荷心エコー：どこを診る？ 原田智成
9. 虚血性心疾患の負荷心エコー：どこを診る？ 柴山謙太郎
10. 閉塞性肥大型心筋症の運動負荷心エコー：どこを診る？ 湯浅直紀

治す

11. 負荷心エコーを僧帽弁閉鎖不全症の治療に活かす！ 宇都宮裕人
12. 負荷心エコーを大動脈弁狭窄症の治療に活かす！ 宮原大輔，佐藤如雄